

がん病理における土壌の重要性

石井 源一郎 先生

国立がん研究センター東病院病理・臨床検査科科长

国立がん研究センター先端医療開発センター病理・臨床検査TR分野分野長

がん組織には、がん細胞だけではなく間質細胞が存在し、がん微小環境を形成している。

石井博士は、20年以上もがん随伴性線維芽細胞 (Cancer-Associated Fibroblast: CAF) の研究を一貫してリードしてきた。

「がん細胞 (Seed) がある特定の環境でのみ増殖できるのは、がん細胞とその増殖を可能とする環境である土壌 (Soil) が重要である」ことが理解できるセミナーと期待される。

日時 **2025年5月9日(金)**
16:00 ~ 17:00

※参加費無料/どなたでも聴講できます

会場⇒**鶴岡先端研究産業支援センター大会議室**

オンラインで聴講をご希望の方は
下記メールアドレスよりお申込みください

問い合わせ先 ⇒ **がんメタボロミクス研究室**  国立がん研究センター
鶴岡連携研究拠点
National Cancer Center
Tsuruoka Metabolomics Laboratory
☎ 0235-64-0980 / ✉ info@ncc-tmc.jp

[主催] 公益財団法人 庄内地域産業振興センター

(ご略歴)

1990年 金沢大学医学部
卒業

1994年 千葉大学大学院
医学研究科博士課程 (病理系)
修了

1994年 千葉大学医学部
(病理学第一講座)

2000年 千葉大学医学部
講師
(病理学第一講座)

2001年 国立がんセンター
研究所支所臨床腫瘍病理部
病理形態研究室長

2005年 国立がんセンター
東病院臨床開発センター
臨床腫瘍病理部病理形態室長

2013年 東京医科歯科大学
連携大学院准教授
(NCC腫瘍医科学)

2015年 東京大学大学院
新領域創成科学研究科
先端生命科学専攻

がん先端生命科学
分野客員教授

(現在も継続)

2016年 国立がん研究センター
先端医療開発センター
臨床腫瘍病理分野分野長

2018年 順天堂大学大学院
医学研究科連携大学院

最先端がん臨床研究コース
客員教授

(現在も継続)

2020年～ 現職